

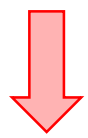
阪急ええはがきコンテストから読み取った生活景から捉えた  
地域魅力に関する研究

緑地計画学 濱本真衣

# 研究の背景と目的

## 研究の背景と目的

近年、従来までの名所や行楽地のような一般的な観光資源だけでなく、人々が暮らす日常生活の中に潜む地域魅力の発掘に注目が集まっている。



本研究では、生活者の視点からまちの魅力を発信することを目的に開催されている『阪急ええはがきコンテスト』を対象に、生活景から捉えた地域魅力を明らかにすることを目的とした。

## 調査対象の抽出方法

### 阪急ええはがきコンテスト概要

主催：阪急電鉄

開催実績：2010年から毎年

特徴：地域の魅力を捉えた生活景が選出されている

形式：写真やイラスト、タイトル、名前、コメント(100字以内)、撮影・スケッチ場所からなる絵はがき

調査対象景：474景

2010年から2015年までの入賞作品



対象が特定でき、作者のコメントが読み取れ、対象の位置が確認できる



出典：阪急ええはがきコンテスト



# 調査対象景の解析方法(モノ景観及びコト景観)

## モノ景観

作者が対象そのものを  
視覚的に捉えた景観

No:273

タイトル:もくれんの花



327景69.0%

コメント:

聖天堂の横に紅木蓮が咲いて  
いました。清潔な中に鮮やかさ  
も兼ね備えた紅木蓮に心ひかれ  
思わずシャッターを切りました。

## コト景観

作者が対象を通して記憶や  
出来事を捉えた景観

No:435

タイトル:夜桜の思い出



147景31.0%

コメント:

会社帰りの主人と夙川駅で待ち  
合わせして、夜桜見物をした。お  
弁当を作って一緒に食べた。夜  
桜は私に切ない思い出を残して  
くれた。2人きりの大切な思い出。

# モノ景観の解析方法



出典：阪急ええはがきコンテスト

No:273

タイトル：もくれんの花

対象の名称：観音寺(山崎聖天)

コメント(一文ずつ見る):

聖天堂の横に紅木蓮が咲いていました。

清潔な中に鮮やかさも兼ね備えた紅木蓮に心ひかれ思わずシャッターを切りました。

視点：観音寺聖天堂の横

主対象：もくれん

作者の評価：清潔な中に鮮やかさも兼ね備えた紅木蓮に心ひかれ

# モノ景観の解析方法

## ・視点

交通の要所			オープンスペース										建築物		不明
道路	橋	駅	社寺	川辺	公園	広場	学校	海辺	池	山	庭園	その他	社寺	その他	

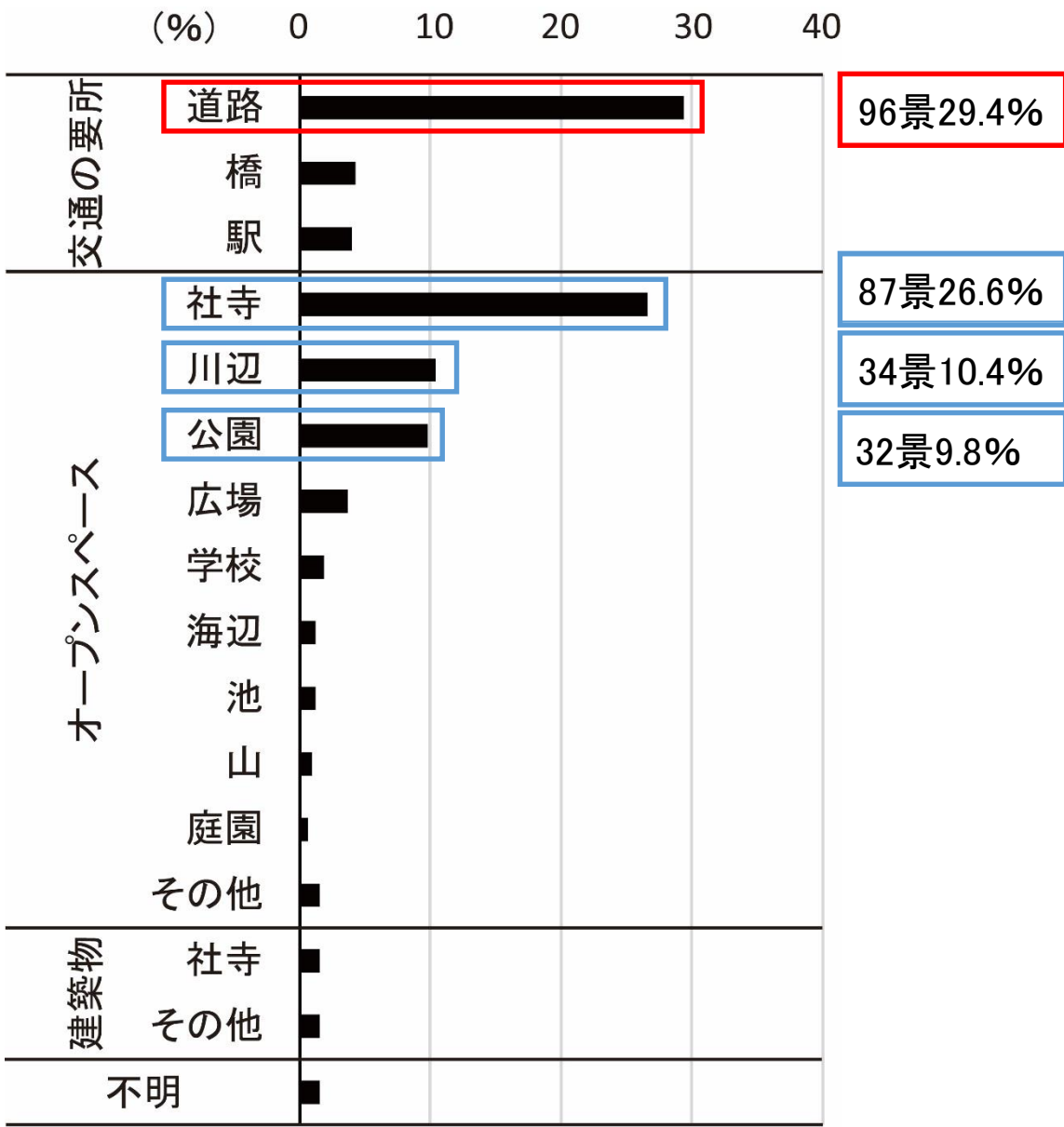
## ・主対象

人工物					自然物						エリア				
建築物	交通の要所	記念物	乗り物	庭園	その他	植物	空	水辺	動物	地形	その他	街並み	通り	商店街	港

## ・作者の評価

項目	芸術性										系譜性													
	意匠性					審美性					地域性					社会性					歴史性			
視点	傑出性	愛着性	調和性	希少性	様式性	希少性	傑出性	愛着性	調和性	愛着性	代表性	希少性	傑出性	典型性	希少性	代表性	愛着性	典型性	愛着性	希少性	代表性	傑出性		

# 視点(モノ景観)



道路



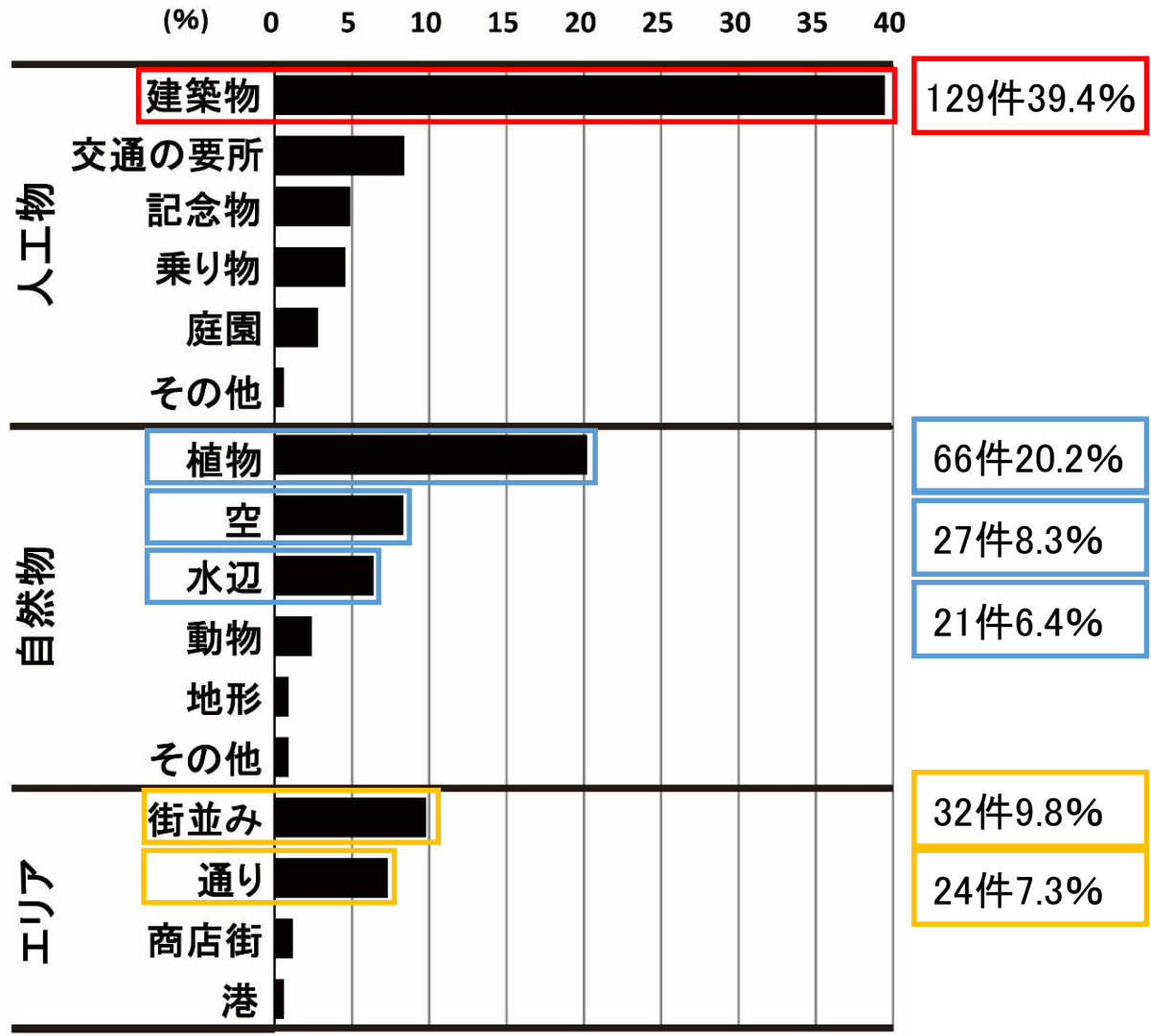
社寺



川辺

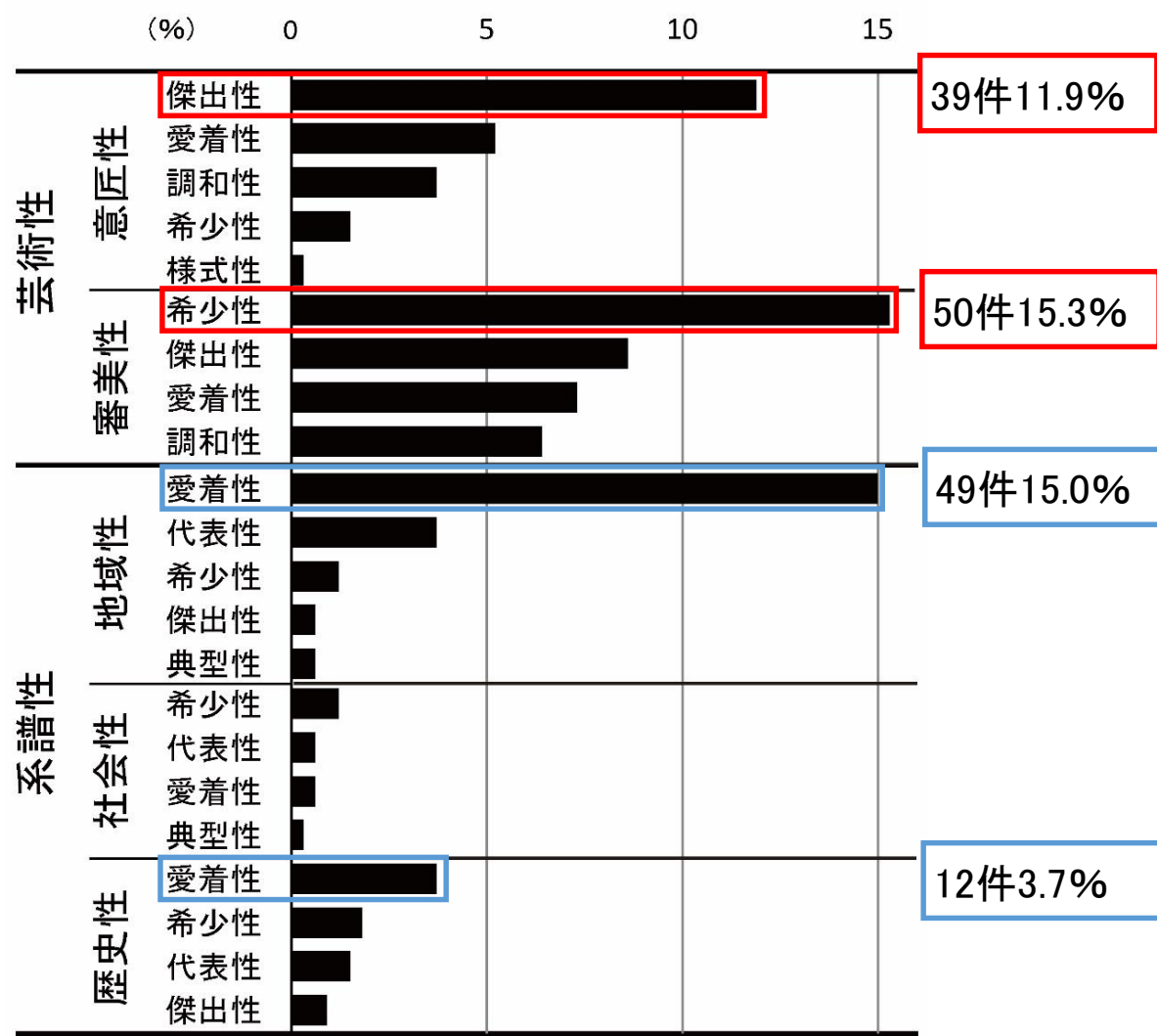
出典: 阪急ええはがきコンテスト

# 主対象(モノ景観)





# 作者の評価




黄金色に輝く大広間の様子は今も鮮やかに思い出されます。



久しぶりの雪景色を大いに楽しむことが出来ました。



地元で愛されている天神社です。



# コト景観の解析方法



出典: 阪急ええはがきコンテスト

No: 435

タイトル: 夜桜の思い出

対象の名称: 阪急夙川駅をおりた川ぞい

コメント:

会社帰りの主人と夙川駅で待ち合わせして、夜桜見物をした。お弁当を作って一緒に食べた。夜桜は私に切ない思い出を残してくれた。2人きりの大切な思い出。

視点: 阪急夙川駅をおりた川ぞい

コトの内容: 夫と夜桜見物をした大切な思い出。

# コト景観の解析方法

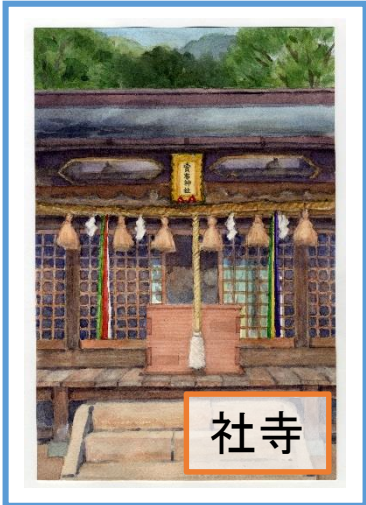
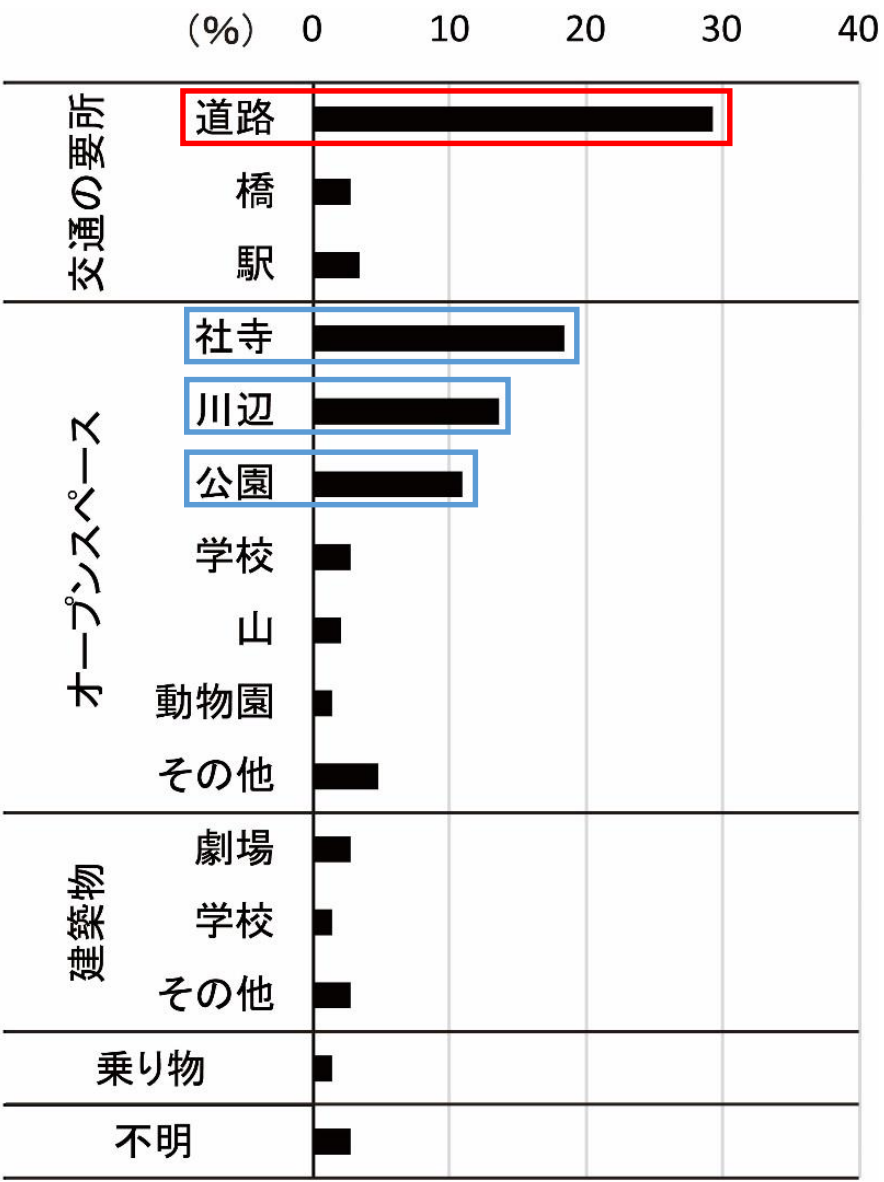
## ・視点

交通の要所			オープンスペース						建築物			乗り物	不明
道路	橋	駅	社寺	学校	動物園	公園	山	川辺	その他	学校	劇場		

## ・コトの内容

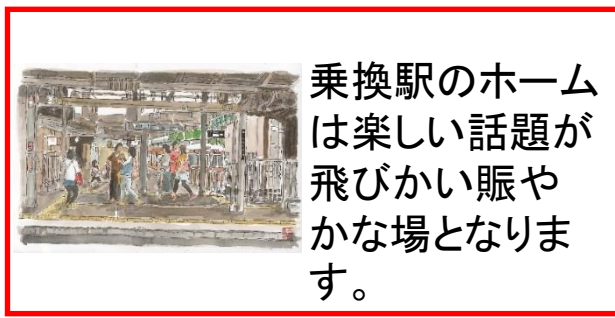
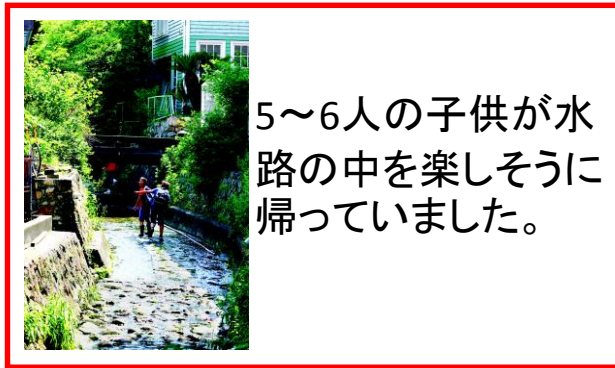
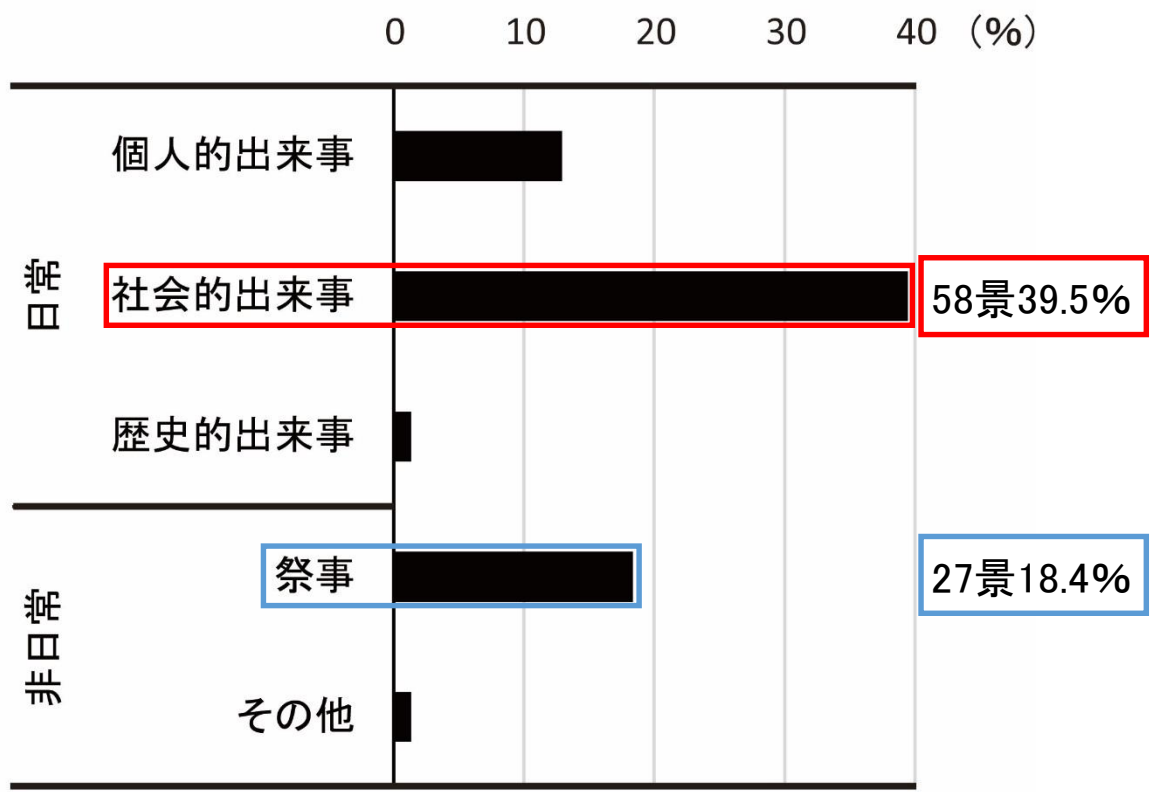
現在					記憶				
日常			非日常		日常			非日常	
個人的出来事	社会的出来事	歴史的出来事	祭事	その他	個人的出来事	社会的出来事	歴史的出来事	祭事	その他

# 視点(コト景観)



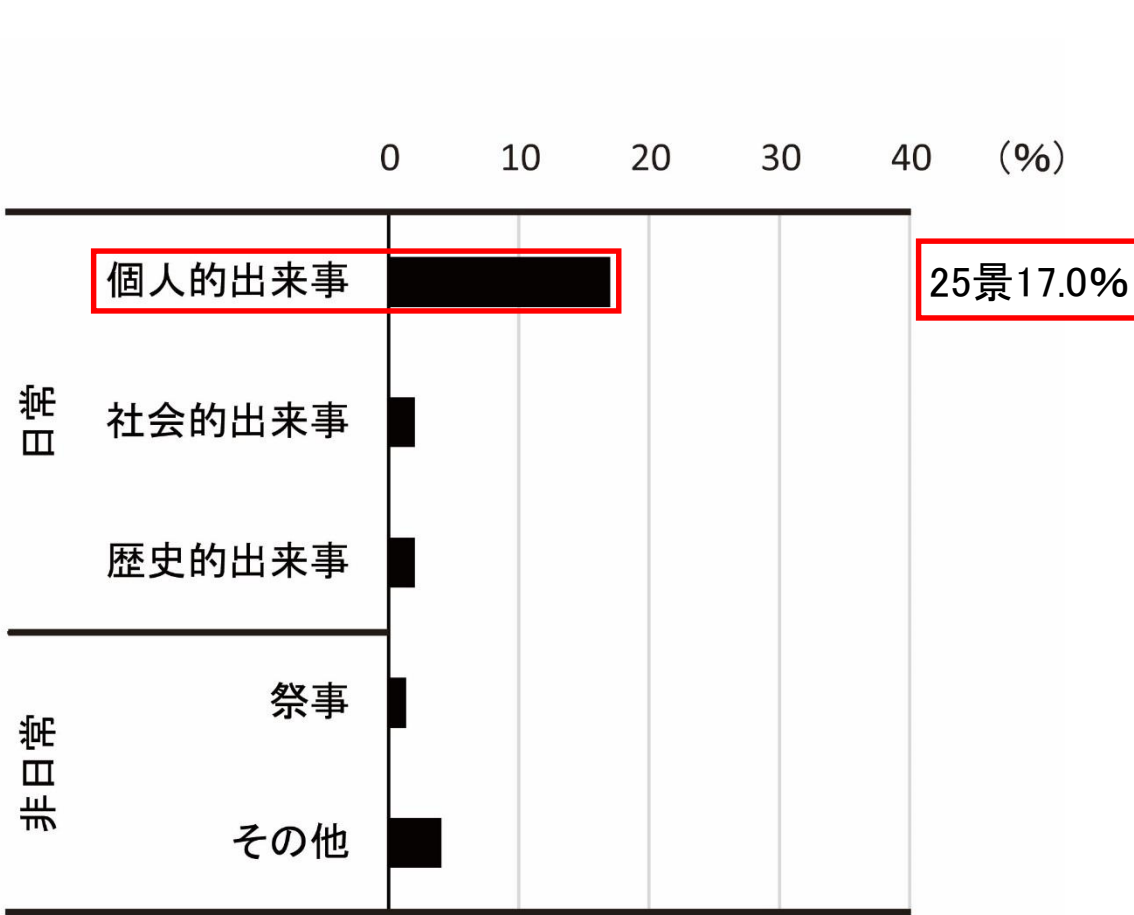
出典: 阪急ええはがきコンテスト

# コトの内容:現在






# コトの内容:記憶




野球少年だった私は西宮球場へ足しげく通った。



写真といえば白黒写真が当たり前だった頃、曾祖母に手を曳かれてこの坂を登りました。



兄は持病で亡くなりましたが、生前幾度となく足を運んでいた。

# まとめ

---

## ・生活景

物理的事象を視覚的に捉えた「モノ景観」だけでなく、記憶や出来事を捉えた「コト景観」が約3割と一定の割合を占めていることに加え、非日常よりも日常的なものが捉えられていることから生活者の視点から地域魅力をあぶり出すためには日常的な「コト」の重要性が明らかとなった。

## ・モノ景観

意匠性の傑出性や審美性の希少性といった見た目の特異性や美しさに加えて、景観を通じた地域や歴史に対する愛着性が地域魅力を捉える際の重要な評価の視点となることが明らかとなった。

## ・コト景観

現在の「コト」に関しては、目の前で起きている社会的な出来事に地域の魅力を見出しやすいことの一方、記憶の「コト」を捉える際には、自分自身や家族との思い出などの個人的な経験が主要なものとなる特徴が明らかとなった。